

科目名 母と子の援助論	授業担当者 齊藤 豊子	所属 中通高等看護学院	
開講時期: 中期～後期	単位数: 1 単位	時間数: 30 時間	
授業の目的 褥婦・新生児の特徴を理解し、新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践に必要な基礎的知識と技術について理解する。			
授業の概要 シミュレーション課題に取り組み、褥婦の退行性・進行性変化、精神・社会的側面の理解と必要な看護およびセルフケアについて学習する。また、新生児が胎外生活へ適応していく過程を理解し、生理的変化や適応に向けた援助について学習する。さらに、異常をもつ褥婦・新生児の理解およびその看護について学習する。協同学習を取り入れ授業を進行するため、主体的に参加してほしい。 母性看護を実践するために必要な技術(看護過程の展開方法、保健指導技術、沐浴、新生児の諸計測など)の演習によって、根拠に基づいた援助技術を身につける。			
受講上の注意・事前学習の内容 学習する内容を教科書等で事前に確認し、イメージできていることが望ましい。提示された事前課題は印刷して取り組み、授業に臨むこと。教授された技術は資料等で基本動作を確認し演習に臨むこと。資料は必要時印刷して事前に準備すること。演習においては身だしなみを整え臨むこと。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	産褥経過と看護	講義	
2	産褥期の日常生活と看護	講義	
3	産褥期の看護技術	講義	
4	ハイリスク状態にある褥婦の看護(帝王切開術後を含む)	講義	
5	出生直後の看護	講義	
6	早期新生児期にある新生児の看護	講義	
7	ハイリスク状態にある新生児の看護	講義	
8・9	沐浴、新生児身体計測、新生児バイタルサイン測定、育児体験	演習	
10・11 12	紙面事例による看護過程	演習	
13	看護過程交流会	演習	
14・15	褥婦に対する保健指導/ロールプレイ	演習	
	試験		
テキスト ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版			
参考書・指定図書 系統看護学講座 専門 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門 母性看護学各論 医学書院 ブックライブラリー ウエルネスからみた母性看護過程 医学書院 病気が見える vol.10 産科 第4版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験及び課題の提出とルーブリック評価表(看護過程・保健指導)に基づき評価する (100点満点中、筆記試験およびレポート課題 60点、看護過程 30点、保健指導 10点)			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります